

「安全・安心」「豊かさ・幸せ」が実感できる茨木へ

明けましておめでとうございます。

市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新年を健やかに迎えのこととお喜び申し上げます。

去年は、コロナ禍にありながらも皆さまの活動が戻りつつある一年でした。市としては、小学校給食費の無償化、中小事業者や医療機関等の皆さま、文化芸術活動への支援など、幅広いきめ細かな対応に努めました。

引き続き、プレミアム率150%の「エール茨木プレミアム付商品券」の販売や水道料金の基本料金の免除など、皆さまの暮らしを支えるべく尽力してまいります。

本年春頃には、西河原西交差点の

高架道路が開通する予定です。そして11月、「次なる茨木」の象徴たる、皆さまとともに育ててきた文化・子育て複合施設「おにクル」が開館します。

安威川ダムの本格運用も目前に控えています。ダム周辺において日本最長の人道吊り橋などを計画中の公園ですが、このほど、名称を「ダムパークいばきた」と決定しました。令和6年のオープンに向けて、官民が連携して、皆さまのアイデアを形にまいります。

本年も、誰もが「安全・安心」や「豊かさ・幸せ」を実感できるまちづくりを進めてまいりますので、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

茨木市長 福岡洋一



プレミアム率150%! 2,000円で5,000円分の商品券が! 「エール茨木プレミアム付商品券」の 販売・利用がスタート!

混雑緩和にご協力ください

商品券は全世帯分をご用意しています。先着順ではありませんので、販売開始直後ではなく少し日をずらして購入するなどご協力をお願いします

令和4年12月中旬から順次購入引換券を送付している「エール茨木プレミアム付商品券」の販売・利用が、1月9日(祝)から始まります。購入した日から、使用できます! 市内の大型店舗やスーパー、飲食店、理美容店などさまざまな場所でぜひご利用ください。

※購入引換券は、令和4年10月1日時点で茨木市に住民票のある全世帯を対象に送付しています。届かない場合は下記の問合せ先までご連絡ください。

購入方法 ※詳細は下図読み取り

イオン等の市内の量販店や郵便局に購入引換券を持参
1冊5,000円の商品券を2,000円で販売、1世帯2冊まで購入可能

購入期間

市内量販店等：1月9日(祝)～2月28日(火)
市内郵便局：1月11日(水)～3月17日(金)

使用期間

1月9日(祝)～3月20日(月)

使用可能場所 ※詳細は下図読み取り

参加店舗は販売時に配布する冊子や専用ホームページに掲載



参加店舗も募集中!
2月28日(火)まで

詳しくは専用ホームページ参照

問合せ先 ☎0120-901-525(同商品券専用コールセンター)



〈全店共通〉
3,000円分
(500円券×6枚)



〈小型店専用〉
2,000円分
(500円券×4枚)

特集

次なる茨木へ。 もっと

「住みやすいまち」となるために、かねてから市民の皆さまと一緒にまちづくりを進めてきた茨木市。コロナ禍で社会や経済への影響が長引く中にあっても、「次なる茨木へ。」というブランドメッセージを合言葉に、さまざまな取り組みが進んでいます。

問合せ先 まち魅力発信課 ☎620・1602



東芝茨木工場跡地にある太田東芝公園の周辺には、イオンタウン茨木太田、追手門学院大学の茨木総持寺キャンパスや同学院の中学と高校、データセンターなど、住宅・商業・文教・医療福祉施設が集まる

有名企業や大学も続々 成長し続ける茨木のまち

大阪に近くて便利、緑も多くて住みやすい。そんな茨木市は昭和23年に誕生しました。歴史とともに歩んできた老舗など地元の商工業に、製造業を中心に誘致した大手企業が加わり、まちは発展。近年は、大規模工場跡に大学や商業施設などが次々と誕生しています。

こうした動きはさらに加速しそうです。追手門学院大学は今年、法学部を新設。立命館大学は来年4月、茨木のキャンパスに映像学部と情報理工学部を移転することで、学生数が1万人規模に。イオンは中津町、松ヶ本町に続き、一昨年は太田地区にショッピングセンターをオープン。ヤマトグループの総合物流拠点などもでき、学生や働く人たちがまちに新たな活気を与えています。人口も増加中。さらに住みやすく、豊かさや幸せを実感できるまちへ。茨木は今後も歩んでいきます。

もっと、住みよいまちに

住んでよかった！と思ってもらえるまちを茨木市はめざしてきました。
 今も暮らしをさらに便利で快適に、また暮らしの“質”をさらに高める開発や整備がさまざまなエリアで進行中です。



モノレール彩都西駅周辺は自然豊かで公園や人気の店も多く、不動産会社の「住みたいまち」ランキングの上位になることも

comforts
1 住むにも働くにも人気の彩都
市南部にも注目！

丘陵地の彩都は、人気の住宅地となった西部地区からまちびらきされ、先進的なライフサイエンス企業も数多く進出、新たな研究開発拠点となっています。茨木摂津線と接続した中部地区や、新名神が開通し、茨木千提寺ICから直結する道路ができた東部地区は産業拠点として注目を集め、ユニクロや資生堂などもやってきました。



「イコくいばらき」は、にぎわいと交流を核に、環境や防災に配慮したまちづくりをめざす

市南部の南目垣・東野々宮地区にも、新たな魅力スポット「イコくいばらき」が。ホームセンター、家電量販店などができる予定で、おうち時間を充実させるショッピングやイベントなどが楽しめるショールームです。
 開発に伴って、新しい道路も少しずつでき、お出かけにも便利に。渋滞が起こりやすい中心部でも道路の整備が進んでいます。



JR茨木駅付近に造った新庄町松ケ本線のアンダーパスは、イオンモール茨木から立命館大学周辺への行き来をスムーズにした



彩都あかね(中部地区)、彩都はまだ・彩都もえぎ(東部地区)には、大手企業の製造等の拠点が続々進出

渋滞緩和はもちろん、人にも車にも安全に利用できる道路整備を進めます

道路課 松原峻司

現在、市役所周辺の道や、JR総持寺駅と阪急総持寺駅をつなぐ道を拡幅しています。自転車レーンや歩道を確保し、利用者の安全性を高めていく予定です。渋滞緩和に向けても、府と情報共有しながら協議を進めています。これからも、皆さんの生活を支える道路整備に取り組んでいきます。

自転車レーンもご利用ください





現在の良さを残しながらさらにここちいい空間をめざす元茨木川緑地



元茨木川緑地にベンチやデッキを整備し、滞在できる空間へ



安威川ダムのだま湖を生かした公園では、吊り橋からのバンジージャンプやBBQ施設も予定。いばきたの山々に囲まれながら水上アクティビティやイベントが楽しめる茨木の名所に

comforts 2

訪れるだけで楽しめる ここちいい空間が誕生間近！

中心市街地でも、さまざまなワクワクする変化が起ころっています。今年11月に誕生する複合施設「おにクル」。I B A L A B (イバラボ) @広場では、年間200を超えるイベントが開催されています。元茨木川緑地では、より魅力的に「リ・デザイン」する計画が本格化。全長5kmの自然空間は40年以上が経過。育ちすぎたり弱ったりしている樹々や桜を植え替え、爽や

かで美しく、さらに楽しく過ごせる空間となります。市中心部を東西に貫く中央通りや東西通りも、ここちいい空間の延長となるような取組みを進めています。市北部の入り口にある安威川ダムの周辺には、日本一の長さの人道吊り橋や、湖面の眺望を生かしたBBQ施設などが令和6年中にオープン予定。話題の観光スポットになること間違いナシです。

魅力的な場所が増えるのが楽しみです

朝倉三恵さん
瑞稀さん



アクセスが便利で住みやすい！

添田美幸さん



緑が多くて穏やかなのがいいですね

JR総持寺駅開業に続いて JR、阪急の各駅前の再整備へ

周辺地域の交通アクセスを便利にしたJR総持寺駅。改札前の通路に展開されるアートプロジェクト「SOU」は、日常でアートが身近に親しめる、茨木らしい魅力スポットに。阪急の総持寺駅にも駅前広場の設置計画が。JR茨木駅と阪急茨木市駅の西口駅前でも、まちの玄関口としてふさわしい再整備を検討しています。



平成30年3月に開業したJR総持寺駅

もっと、安心して暮らせるまちに

茨木市では、子育てや教育環境の支援、子どもから高齢者まで誰もが必要とする医療や防犯、防災対策など、いざというときに安心できるまちづくりに力を入れてきました。



公園も、安全で快適に過ごせるよう整備。段差の解消や遊具のリニューアルを進めている

safe & peaceful

1 幅広い支援・制度で 子育て世代を応援！

茨木では、保育施設の新設や建て替えなどによりこの7年間で定員を1,700人以上増やし、今後も拡大。年度始めの待機児童は3年連続ゼロ、施設によっては7時30分から21時まで利用できます。

妊娠・出産から育児まで切れ目のない支援ができるよう、こども健康センターと子育て支援総合センターが連携。子どものけがや病気による通院や入院の医療費も、18歳まで所得制限なく助成しています。

safe & peaceful

2 阪急茨木市駅前に 救急病院開設に向け協議中！

緊急入院や手術が必要な重症患者を24時間体制で受け入れ、小児救急機能も備える200床以上の二次救急告示病院の阪急茨木市駅前への誘致に、取り組んでいます。

までの開院に向けた協議を進めています。身近なクリニックと連携することで、地域医療がますます充実していきます。

現在、事業者候補者となった大阪医科薬科大学と、令和11年度末



防災や防犯対策を強化、 安全・安心な生活環境を

一時避難地や広域避難地に指定されている14カ所の公園では、かまどになるベンチやマンホールトイレなどの防災機能を整備。公共施設の耐震化率は97%を超え、上下水道の管の耐震化率も全国平均を大きく上回っています。自然災害への備えとともに力を入れているのが、通学路などへの防犯カメラの設置で、今年度から新たに320台の防犯カメラを拡充し、計674台の運用を行っています。



防災公園として整備された岩倉公園



中学校給食センターは彩都はなだに建設予定。9,000食の調理が可能で、全14中学校に配送



体育館への空調整備は学校生活が快適になるだけでなく、避難所環境の改善にも

教育環境はいいし、中学校も給食になるのはうれしいですね

(右から)
南島宏哉さん
菜々海さん
真紀子さん



子育てがしやすく住んでよかった！周りで戻ってくる人が多いです

木村香央里さん
央亮さん



学校が快適になれば災害時でも安心です

加藤絵里さん



地元で大きな病院が増えるのはうれしいです

置田勝己さん



safe & peaceful
3 学びの場がどんどん快適に！
災害時の避難所環境の向上にも

茨木では、学校園と市教委が「一人も見捨てへん教育」の実現をめざし、テストの点数では測れない内面の力＝非認知能力の向上をはじめ、さまざまな取組みを進めています。ICTを活用した教育現場のデジタル化も推進中。学ぶ環境は大切だから、公立幼稚園や小中学校の教室のエアコン設置率は100%。令和6年度中には小中学校全46校の体育館に

も設置する予定です。トイレの洋式化も段階的に進めています。学校は災害時には避難所にもなる場所。学校施設の整備は、まちの防災力を高めることにもなります。中学校でも全員給食を令和7年から開始予定。栄養バランスのいい食事を提供しながら、給食が生きた教材となるような食育も進めていきます。



中学校給食は、主食と汁物、主菜、副菜と牛乳の献立が基本 ※写真はイメージです

中学生みんなに
あったかい給食を食べてもらえるように

学務課 森本純也

給食センターで作られた給食は、各中学校の配膳室に届けられ、生徒が食器に盛り付け配膳します。保温・保冷に優れた食缶で、料理ごとに適切な温度で提供します。アレルギー除去食は、専用調理室で調理し、専用容器で届けます。旬や手作り感を大切に、地産地消、行事食や郷土料理なども取り入れた魅力的な給食をめざします。

給食で
さまざまな
食体験を

